



富士山お山開きウォーク

小富士とまぼろしの滝

2023.07.10 5km

コースの概要

浅間大社で安全祈願祭に参加した後、バスで道の駅すばしりに向かいます。ここでトイレ休憩後、須走口五合目に向かい、体操を済ませてウォークスタートです。まずは古御岳(こみたけ)神社まで歩きます。富士宮口新五合目より標高が低い(富士宮口2400m、須走口2000m)ため樹木が多く、富士宮口とは違った雰囲気です。古御岳神社から少し戻ったところに小富士への遊歩道入口があります。小富士までは30分弱のウォークです。天気良ければ、河口湖や山中湖、伊豆大島などを望むことができるでしょう。小富士から須走口五合目に戻り、山小屋周辺で昼食になります。店の前の椅子やテーブルは店所有のものですから店で食事をする人以外は使うことができませんのでご注意ください。トイレは有料(200円)です。昼食後はまぼろしの滝までの往復です。滝は雪解けの水が流れている期間にのみ現れるものです。見学時間を含めて1時間15分ほどのウォークです。バスの駐車場に戻ったら、再び道の駅すばしりに移動して、トイレ休憩と買い物タイムになります。その後、道の駅の前にある東口本宮富士浅間神社にバスで移動して、境内を散策します。今回のコースは歩きづらく滑りやすい場所が何か所もあるので杖を持っている方は使いましょう。

行事参加中のコロナ対策

- ・バス内ではマスクを着用し、大声での会話は控えてください。
- ・バス内での菓子等の喫食は控えてください。
- ・ウォーク中のマスク着用は個人判断とします。

小富士



東口本宮富士浅間神社

全国にある浅間神社の一社。富士山須走口登山道の起点に鎮座し、正式名称は富士浅間神社で、須走浅間神社(すばしりせんげんじんじや)とも称される。2013年(平成25年)、富士山が世界文化遺産「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」として登録された際、構成資産の一つとして世界文化遺産に登録されている。

古御岳神社

古御岳神社は須走口五合目に鎮座し、山の神で木花咲耶姫命(コノハナサクヤヒメノミコト)の父である大山祇神(オオヤマツミノカミ)、木花咲耶姫命の息子である火須勢理命(ホスセリノミコト)、山の水の神である高岩賀美命(タカオカミノミコト)が祀られている。かつての登山者や富士講信者は、富士浅間神社を参拝した後、この古御岳神社で登山の安全を祈願し、また下りてきては登山での無事を感謝した。登山道の変遷に伴い、2合目の雲霧神社、4合目の御室浅間神社も合祀されている。

小富士

標高1,979メートルの小富士は、富士山東裾の側火山。富士山頂は指呼の間、吉田口登山道が見える。山中湖、丹沢、箱根の山々などまた美しい景観である。

まぼろしの滝

須走口五合目付近に見られるまぼろしの滝は山頂付近の雪解け水が集まり山肌に露出した溶岩上を流れ落ちる現象で、例年は5月中旬から6月中旬の気温の高い日に現れることが多い。川のない富士山で、澄んだ水が音を立て流れる光景は神秘的である。

参加者の皆様へ

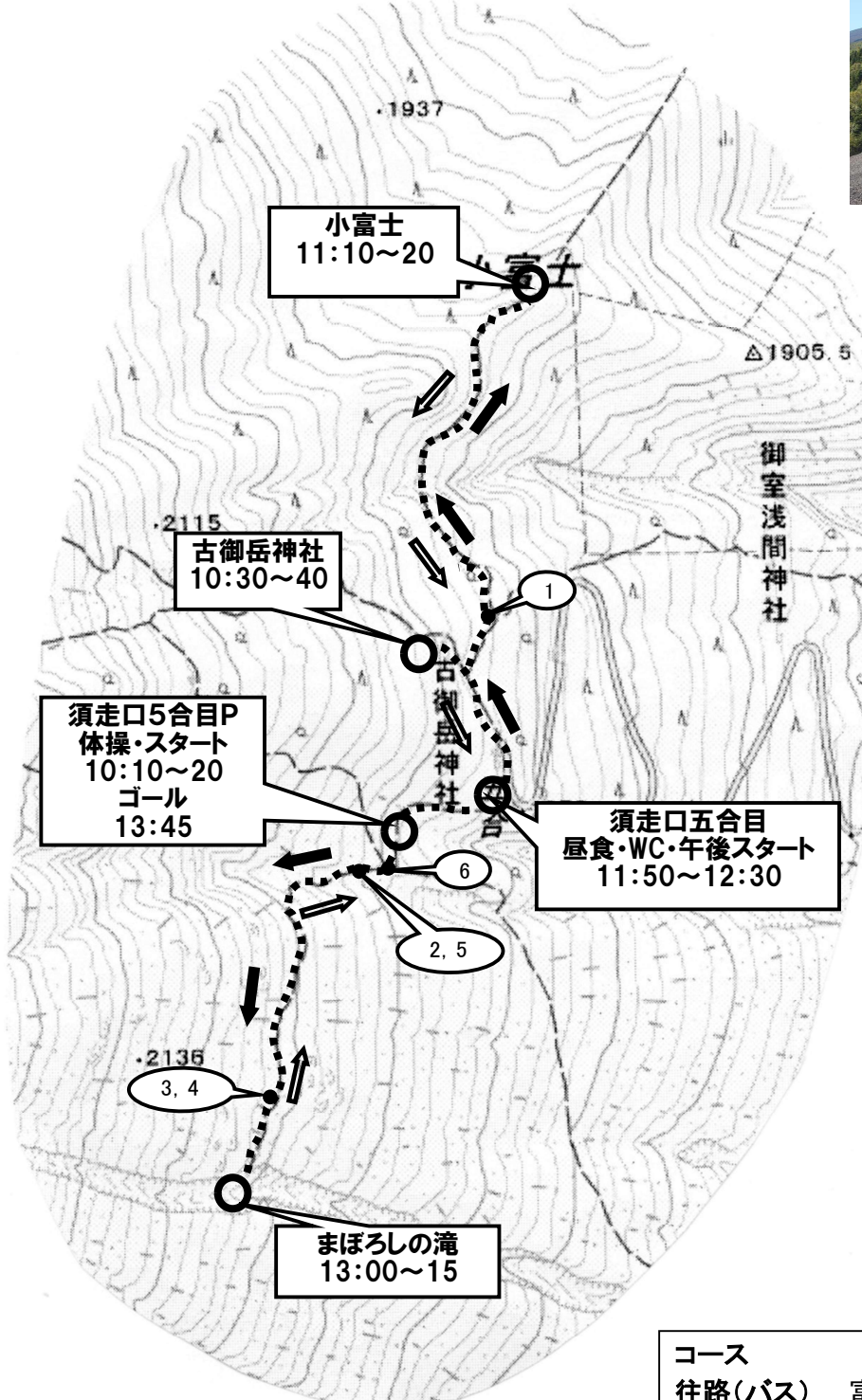
- ・無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

緊急時連絡

由井英子 090-2778-3899
里見祥一 090-6767-2474

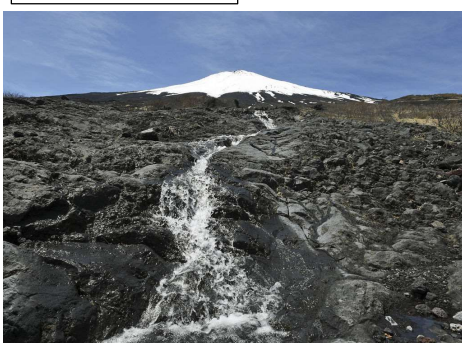
次回申込(朝・集合場所で) 上高地・大正池・明神池 水曜ウォーク

☆期日 8月23日(日)
☆集合 富士宮駅南口 6:00
☆参加費 6,000円
☆〆切 8月17日(木)



300 m

まぼろしの滝



コース

往路(バス) 富士宮駅南口 == 浅間大社(安全祈願祭・WC) == 新富士IC == 新御殿場IC
8:00 8:15~45
== 道の駅すばしり(WC) == 須走口五合目P(体操)
9:35~50 10:10~20
ウォーク 須走口五合目P(スタート) ... 古御岳神社 ... 小富士 ... 須走口五合目(昼食・WC)
10:20 10:30~40 11:10~20 11:50~12:30
... まぼろしの滝 ... 須走口五合目P(ゴール)
13:00~15 13:45
復路(バス) 須走口五合目P == 道の駅すばしり(WC) == 東口本宮富士浅間神社 ==
13:45 14:05~30 14:40~15:00
新御殿場IC == 新富士IC == 富士宮駅南口
15:50